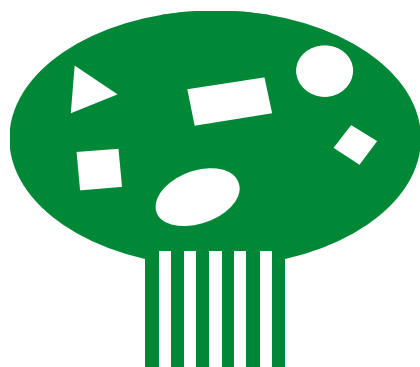




# 2019年度 環境活動レポート

2018年12月～2019年11月



阪南産業株式会社

2020年 4月 1日発行

## 目次

環境方針	2
登録事業所の概要	3~7
環境経営システム組織図	8
環境負荷の実績	9~10
環境目標及びその実績	11
本年度の環境目標・活動計画と評価	12
環境関連法規制等の順守状況	13
代表者の見直し結果と評価	13

ごあいさつ

現在、異常気象などのさまざまな『地球温暖化』が深刻になってきています。  
これは私たちが便利さだけを追求してきたことが原因のひとつだと思います。  
それぞれが『今』できることをして、これから先『地球温暖化』の問題を先延ばしに  
しないことが大切です。  
一人一人が行動を振り返り、反省をして改善していくことで自身の成長に繋がって  
いくと思います。

2014年12月  
代表取締役社長 高好 章二

## 阪南産業株式会社 環境方針

阪南産業株式会社は、昭和34年の創業以来、「木材資源のリサイクルを迫及する」を企業理念の柱に据え、木材チップ製造を一貫して事業の中心としてまいりました。現在、環境意識の高揚にともなってリサイクルの重要性はますます大きくなり、時代はまさに、私どもの予想をはるかに越えるスピードでリサイクル企業の存在価値を高めてきたと言えます。限りある資源の有効利用により、地球環境保全に貢献するために、これからも私たちの役割は、各方面から一層期待されるはずで、その為に、より一層の創意工夫によって、より高い環境保全目標に向かって取り組みます。

### <環境保全への行動指針>

1. 具体的に次のことに取り組みます。

- ①電力の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ②収集運搬車・重機の燃料消費に伴う二酸化炭素の削減
- ③事務所からの一般廃棄物の削減
- ④水道水の使用量削減
- ⑤コピー用紙の削減
- ⑥環境配慮製品の販売促進
- ⑦グリーン購入の促進
- ⑧太陽光発電施設の適切な運営管理

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

- 2. 受託した産業廃棄物(木くず)の再資源化率99%以上を維持します。
- 3. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
- 4. この環境方針を全従業員に周知させます。
- 5. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

制定日：2007年12月1日  
改定日：2018年12月1日

代表取締役社長  
高好 章二

## 登録事業所の概要

- (1) 事業者名及び代表者名  
阪南産業株式会社  
代表取締役 高好 章二
- (2) 対象事業所所在地(全社)  
(本社・第2工場)  
〒559-0026 大阪市住之江区平林北2丁目8番23号  
※(事務所)  
大阪市住之江区平林北2丁目7番78・81号  
(第3工場)  
大阪市住之江区平林北2丁目9番134号  
(第4工場)  
大阪市住之江区平林北2丁目7番40号  
(第1工場)  
大阪市住之江区平林南2丁目6番72号  
(淡路太陽光発電所)  
兵庫県淡路市江井字ナギ1902-19他  
(宍粟市太陽光発電所)  
兵庫県宍粟市一宮町公文1467-1  
(たつの市太陽光発電所)  
兵庫県たつの市御津町室津字七曲り896-24  
※上記の事務所とは、以前に第2工場内にあった本社を、業務拡大に伴い対面の場所に移したが、登記上は未だ第2工場内にあるので、移設した本社を事務所としている
- (3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先  
環境管理責任者 専務取締役 高好健二 TEL:06-6685-7196
- (4) 事業内容(認証・登録の範囲:全組織・全活動)  
・木材チップの製造及び販売  
・産業廃棄物(木くず)の中間処理業【2012年9月 優良認定】  
・産業廃棄物の収集運搬業(積替え・保管を含む)【2012年9月 優良認定】  
・太陽光発電設備  
(淡路太陽光発電所 290kw 2013年11月設置)  
(宍粟市太陽光発電所 514kw 2015年10月設置)  
(たつの市太陽光発電所 1, 190kw 2016年 3月設置)
- (5) 事業の規模  
売上高 14億7千3百万円(2019年度)  
従業員 45名 (2019年12月現在)  
延べ床面積 6161㎡  
収集運搬車両台数 8t平ボディ車 1台  
6t平ボディ車 1台  
4t平ボディ車 3台  
4tダンプ(ロールオン) 3台  
営業用車両台数 3台
- (6) 法人設立年月日 1968年12月10日

(7) 資本金 99,999,500円

(8) 許可の内容

■処分業(第2・3工場)

- ・ 許可番号 大阪市第6620008387号
- ・ 許可年月日 令和2年 2月13日
- ・ 許可の有効年月日 令和9年 2月12日
- ・ 事業の区分: 中間処理
- ・ 産業廃棄物の種類
- 1. 木くず  
石綿含有産業廃棄物を除く 以上1種類

■収集運搬業[積替え保管を含む](第4工場・第2工場の一部)

- ・ 許可番号 大阪市第6610008387号
- ・ 許可年月日 令和元年10月25日
- ・ 許可の有効年月日 令和8年 6月30日
- ・ 事業の区分: 積替え・保管を含まない 1、がれき類  
積替え・保管を含む 1、廃プラスチック類 2、紙くず 3、木くず  
4、繊維くず 5、ゴムくず 6、金属くず 7、ガラスくず

収集運搬許可一覧

許可先 許可番号	産業廃棄物の種類	許可年月日 許可有効期限
大阪市 6610008387	廃プラスチック類 紙くず 木くず 繊維くず ゴムくず 金属くず ガラスくず がれき類	R元. 10. 25 R 8. 6. 30
大阪府 2700008387	廃プラスチック類 紙くず 木くず 繊維くず ゴムくず 金属くず ガラスくず がれき類	H29. 7. 1 H34. 6.30
京都府 2600008387	廃プラスチック類 紙くず 木くず 繊維くず ゴムくず 金属くず ガラスくず	H27.10.2 H34. 7.15
兵庫県 2803008387	廃プラスチック類 紙くず 木くず 繊維くず ゴムくず 金属くず ガラスくず	R元. 9.17 R 8. 9.16
奈良県 2900008387	廃プラスチック類 紙くず 木くず 繊維くず ゴムくず 金属くず ガラスくず	R元. 8.19 R 8. 8.18
滋賀県 2501008387	廃プラスチック類 紙くず 木くず 繊維くず ゴムくず 金属くず ガラスくず	R元. 11.18 R 8. 11.17
和歌山県 3000008387	木くず	H29.11.21 H36.11.20

●廃棄物再生事業者登録(証明書)

事業の内容: 木くずの再生(破砕による原料・燃料化)

登録年月日 平成16年3月24日 更新日 平成26年2月21日

登録番号 第289号

●一般廃棄物再生利用業(指定証)

再生活用業: 木くず(剪定枝に限る)

指定番号 第1032号

指定年月日 平成30年7月1日 指定期限 平成32年6月30日

(9) 施設等の状況

■処分業(第2・3工場)

1. 施設の種類:①②③破砕施設
2. 設置場所 :大阪市住之江区平林北2-8-23 ①②(第2工場内)  
:大阪市住之江区平林北2-9-134 ③(第3工場内)
3. 処理能力 :①132t/日 ②79t/日 ③160t/日
4. 最大保管数量(合計) 5,194t

■収集運搬業積替え保管施設(第4工場・第2工場の一部)

- ・所在地 :①大阪市住之江区平林北2丁目7番40号  
②大阪市住之江区平林北2丁目7番78・81号
- ・面積 :①383㎡ ②650㎡
- ・保管上限:①313㎡ ②414㎡
- ・積み上げ高さ:①2.8m ②2m
- ・産業廃棄物の種類: ①廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、  
金属くず、ガラスくず  
②木くず

■木材チップ製造業(第1工場)

- ・所在地 :大阪市住之江区平林南2丁目6番72号  
この第1工場では産業廃棄物は扱わない。  
(原材料を購入し、製品を販売)

■太陽光発電(売電事業)

●淡路太陽光発電所

所在地 兵庫県淡路市江井字ナギ1902-19他  
敷地面積 5360㎡  
設置年月日 平成25年11月30日  
発電能力 290KW  
2019年度:実績 406,282kWh

●宍粟市太陽光発電所

所在地 兵庫県宍粟市一宮町公文1467-1  
敷地面積 6371㎡  
設置年月日 平成27年10月30日  
発電能力 514kw  
2019年度:実績 533,722kWh

●たつの市太陽光発電所

所在地 兵庫県たつの市御津町室津字七曲り896-24、896-184  
敷地面積 31524㎡  
設置年月日 平成28年3月24日  
発電能力 1190kw  
2019年度:実績 1,446,969kWh

昨年度の3か所発電所合計2,386,973kWh  
これは、弊社で使用した年間電力量の138%にあたる。

■重機類の保有台数

バックホー 4台  
ホイールローダー 3台  
リフト 6台

(10) 処理実績

処理方法等			処分方法等	処理量t
収集運搬		木くず(引取り)		20000
収集運搬量合計				20,000
		木くず	(破碎)	96,000
中間処理		(持込み+引取り)		
		木くず	製紙・建築ボード原料等として販売	95,083
		鉄くず	有価物販売	917
	うち再資源化等			
		再資源化等量小計		96,000
中間処理合計				96,000
最終処分				
最終処分量合計				0
	最終処分			
中間処理後の産業廃棄物		木くず	製紙・建築ボード原料等として販売	95,083
	再資源化	鉄くず	有価物販売	917
	等	残渣物(木くず非鉄混合)	【委託】	0
		再資源化等量小計		96,000
中間処理後処分量合計				96,000

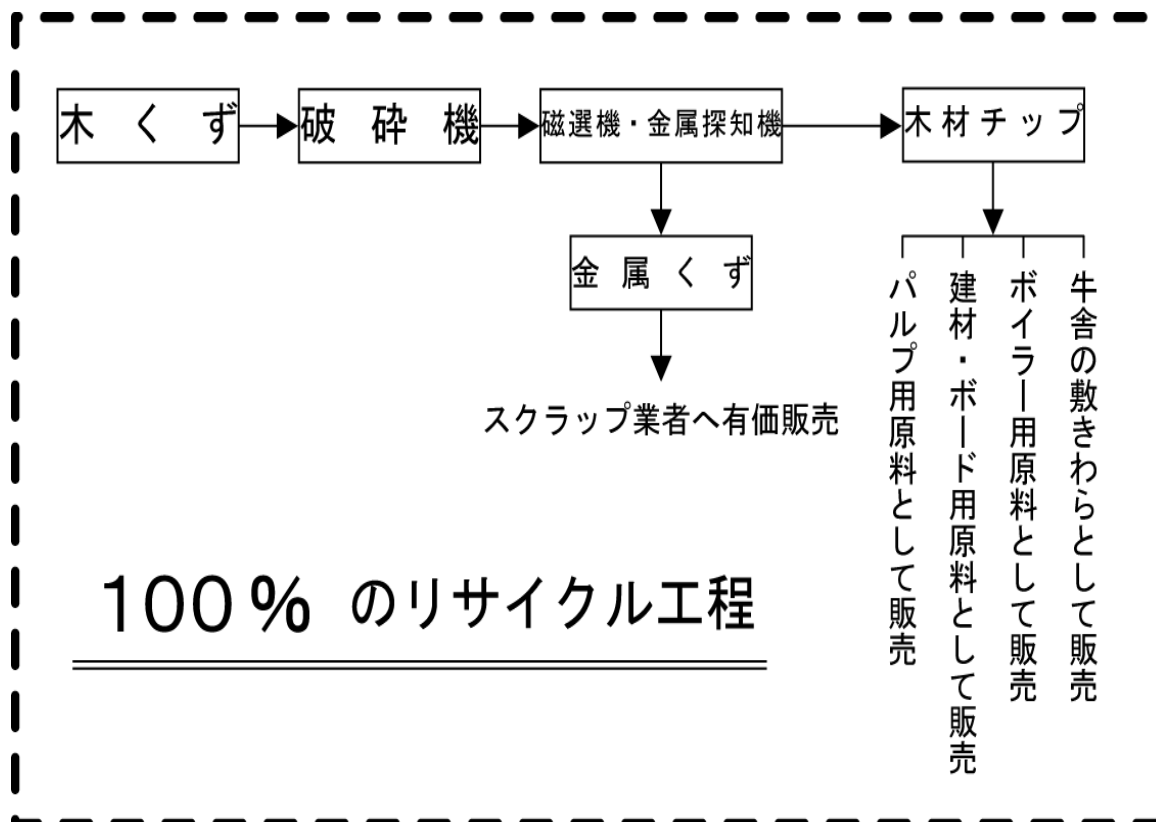
■処分業 木くず 96,000トン(H31年度実績)

■収集運搬業 木くず 20,000トン(H31年度実績)

その他の産業廃棄物の収集運搬は実績ゼロ

(11)処理工程

木くずのほぼ100%リサイクル



(12)廃棄物処理料金

処理料金につきましては種類、量、により計算いたします。

弊社営業(TEL06-6685-7196)までご相談ください。無料にてお見積もりいたします。

(13)所属する主要団体

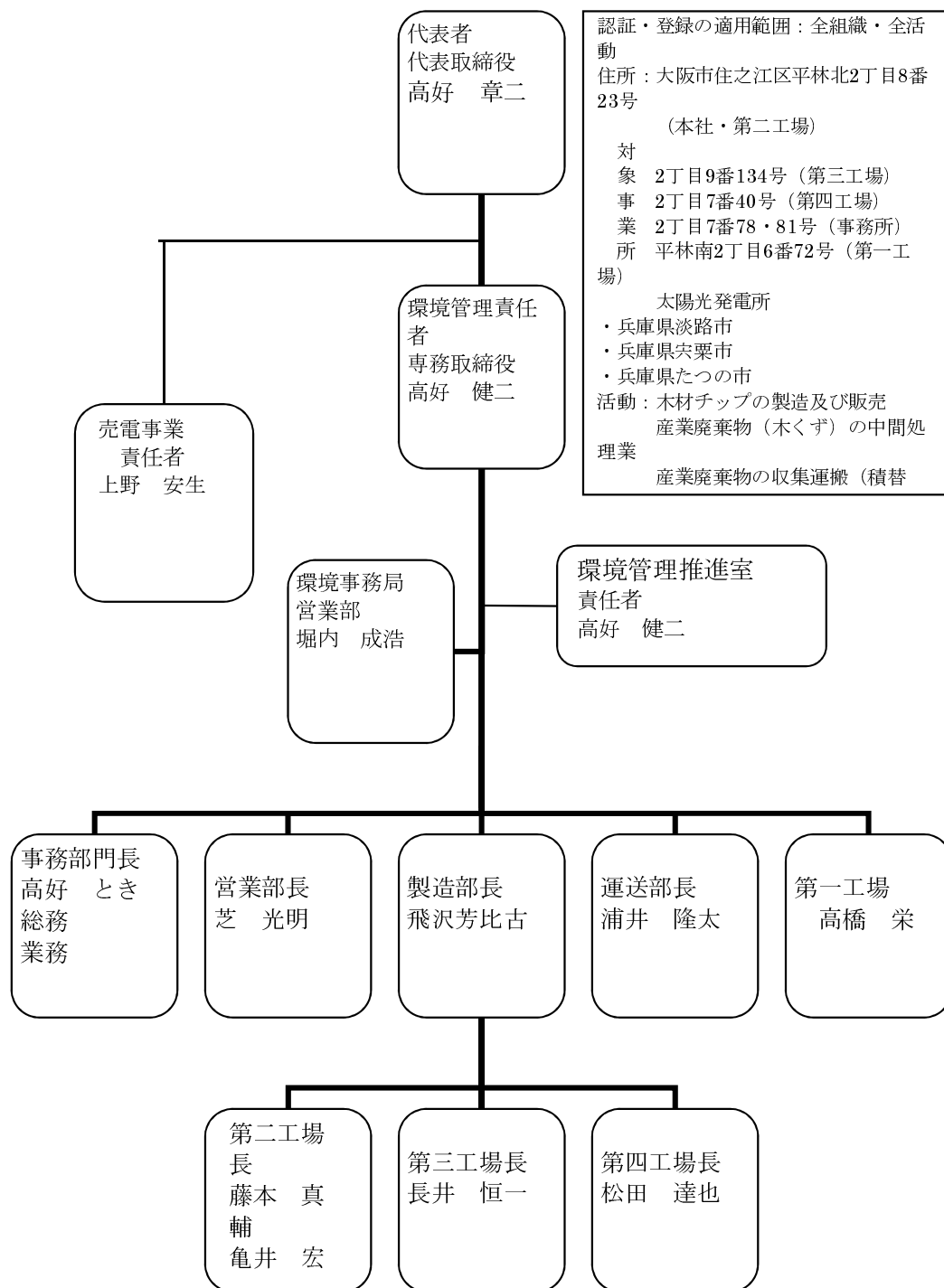
- ① 社団法人 大阪府産業廃棄物協会
- ② 平林会(地域団体)



2020. 4. 1

環境管理責任者 高好健二 作成

### 阪南産業株式会社 環境経営システム組織図



□年度別環境負荷の実績(全社)		排出係数		
		電力	ガソリン	軽油
		0.442	2.32	2.58
項目	単位	2017年	2018年	2019年
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub> /年	1,106,977	1,114,473	1,185,853
廃棄物排出量	トン/年	0.87	0.87	25.87
一般廃棄物	トン/年	0.67	0.67	0.67
産業廃棄物	トン/年	0.2	0.2	25.2
水道水の使用量	m <sup>3</sup> /年	8,395	8,390	9,575
※総排水量	m <sup>3</sup> /年	1,679	1,678	1,915

- ※1 購入電力の二酸化炭素排出係数は、2019年度から 0.442kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用しています。  
 ※2 総排水量は水使用量の20%値として運用。(散水による蒸発及び製品に含まれて出荷のため)  
 ※3 第1・第4工場は、臨時的な稼働のため、目標、実績に含めない。

□ 事業所別

二酸化炭素排出量は、電力・軽油使用量分の合計値とする。

[事務所のガソリン・工場別全部のLPGを含まない]

本社

項目	単位	2017年	2018年	2019年
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub> /年	105,869	109,774	109,107
電力使用量	kwh/年	15,413	20,443	21,397
軽油使用量	L/年	38,394	39,046	38,624
廃棄物排出量	トン/年	0.6	0.6	0.6
一般廃棄物	トン/年	0.6	0.6	0.6
産業廃棄物	トン/年	0	0	0
※総排水量	m <sup>3</sup> /年	148	149	165

第2工場(木くず良品) 令和元年度生産量 37,624t

項目	単位	2017年	2018年	2019年
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub> /年	394,184	395,561	421,622
電力使用量	kwh/年	578,536	596,675	631,174
軽油使用量	L/年	53,671	51,097	55,288
廃棄物排出量	トン/年	0.25	0.25	0.25
一般廃棄物	トン/年	0.05	0.05	0.05
産業廃棄物	トン/年	0.2	0.2	0.2
※総排水量	m <sup>3</sup> /年	811	946	1052

第3工場(木くず) 令和元年度生産量 57,458t

項目	単位	2017年	2018年	2019年
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub> /年	606,924	609,138	655,123
電力使用量	kwh/年	974,364	963,349	1,009,298
軽油使用量	L/年	68,316	71,061	81,013
廃棄物排出量	トン/年	0.016	0.016	25.016
一般廃棄物	トン/年	0.016	0.016	0.016
産業廃棄物	トン/年	0	0	25
※総排水量	m <sup>3</sup> /年	720	583	698

□2019年度環境目標達成状況及び中期目標  
 < 全社 >

目標項目	単位	2007年度	2019年度		達成状況	2020年度	2021年度
		(基準年度)	目標値	実績値		目標値	目標値
		基準値				基準年比	基準年比
電力使用量削減	kg-CO2	795,810	716,229	764,689	×	716,229	716,229
※係数変更			90%			90%	90%
化石燃料使用量削減	kg-CO2	523,580	502,637	496,916	○	502,637	502,637
			96%			96%	96%
二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	1,319,390	1,218,866	1,261,605	×	1,218,866	1,218,866
			92%			92%	92%
一般廃棄物の削減	t	0.6	0.6	0.6	○	0.6	0.6
			95%			95%	95%
コピー用紙の削減	t	0.30	0.29	0.29	○	0.29	0.29
			96%			96%	96%
受託廃棄物の再資源化率ほぼ100%の維持	%	100	99.9	99.9	○	99.9	99.9
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	8,938	9,653	9,765	×	9,653	9,653
			(2012年度変更)→			108%	108%
環境配慮商品の販売促進	千円	5,410	10,279	5,323	×	10,279	10,279
			190%			190%	190%
トラック燃費平均値	km/L	4t車 ダンプ(3台平均)	4.4	4.11	×	4.4	4.4
今期より(実績値)		4t車 平ボディ(3台平均)	4.9	4.96	○	4.9	4.9
		6t車 平ボディ	3.6	4.36	○	3.6	3.6
		8t車 平ボディ	3.3	3.74	○	3.3	3.3

※二酸化炭素排出係数:0.442 kg-CO2/kWhを使用して、基準値及び目標値を再計算しています。

※電気及び水については、2015年度から原単位目標を設定

太陽光発電所にて発電した電力実績 (R元年度)  
 (淡路市・宍粟市・たつの市発電所の合計)

売却電力 2,386,973kWh(1,055,042 kg-CO2)

弊社排出の二酸化炭素量(1,261,605 kg-CO2)の 約84%に相当する。

(弊社使用電力会社発表値を使用して合わせて計算 :二酸化炭素排出係数0.442kg-CO2/kWh)

□2019年度環境目標及び実績  
 <各事業所別>

目標項目	2019年度	2019年度			達成状況
	全社の目標値	事業所別			
		事業所名	目標値	実績値	
電力使用量削減	1,694,834	本社	25,916	21,397	○
		2工場	563,432	631,174	×
	kwh	3工場	1,105,486	1,009,298	○
軽油(重機・トラック)使用量削減	159,318	本社	52,238	38,624	○
		2工場	42,192	55,288	×
	ℓ	3工場	64,888	81,013	×
一般廃棄物削減	0.6 t	本社	0.6	0.6	○
コピー用紙の削減	0.29 t	本社	0.29	0.29	○
受託廃棄物の再資源化率 ほぼ100%の維持	99.9%	2工場	99.9%	99.9%	○
		3工場	99.9%	99.9%	○
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	本社	745	828	×
		2工場	4,149	5,264	×
		3工場	4,854	3,490	○
環境配慮商品の販売促進	千円	本社	10,279	5,323	×

このページ(各事業所別)の欄の目標値につきましては各事業所別で設定した削減目標率に対しての数値を記入しております。ただし、電力、軽油及び水使用量については1工場及び4工場でも使用していますが、

4工場は不定期作業の積換保管であり、また、1工場は週1回程度の作業にとどまる有価物専用工場であるため、本表には掲載していません。

□環境目標及びその実績(原単位評価結果)

第2及び第3工場で使用している電力は木材チップ生産量と相関関係が高いことから、2015年度から原単位評価を実施している。

	基準年度(2015年度)			実績(2019年度)			評価
	電気	生産量	原単位kWh/t	電気	生産量	原単位	
	kWh	t		kWh	t		
第2工場	585,407	34,859	16.79	631,174	37,624	16.78	○
第3工場	1,056,287	48,109	21.96	1,009,298	57,458	17.57	○

※生産量は産業廃棄物処理における原材料化活動による木材チップの販売量である。

※評価基準  
 目標値達成 ⇒○  
 目標値5%未満の超過⇒△  
 目標値5%以上超過 ⇒×

□本年度の環境目標・活動計画と評価

取り組み項目	達成状況	評価(結果と今後の方向)
<b>電力の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減</b> ・節電運動展開 ・不要照明の消灯 ・クールビズ・ウォームビズ運動 ・冷房28℃ 暖房20℃	目標: 1,620,428kwh (2007年度比 △10%) 実績: 1,730,067kwh (目標比+6.7%)	目標未達成 デマンド管理の継続
<b>収集運搬車・重機の燃料消費に伴う二酸化炭素の削減</b> ・アイドリングストップ ・急発進、急停車の防止 ・冷暖房の控えめ使用 ・燃費のよい車の購入(更新時)	目標: 172,063L (2007年度比△2%) 実績: 180,972L (目標比+5.1%)	目標未達成 エコ運転活動を継続する。
<b>一般廃棄物の削減(紙のみ)</b> ・裏紙使用 ・ミスコピーの防止 ・分別による古紙のリサイクル化 ・帳票見直しによる印刷物の削減	目標: 516kg (2007年度比 △15%) 実績: 516kg (目標±0)	目標達成 紙・プラの分別販売も軌道に乗った。
<b>コピー用紙の削減</b> ・FAXをパソコンと連動して無駄をなくす	目標: 288kg (2007年度比△4%) 実績: 288kg (目標±0)	目標達成 データの共有化でプリントアウトの頻度を更に下げられる様取り組む。
<b>水道水の使用量削減</b> ・節水呼びかけ ・節水弁取り付け ・自動水栓取り付け ・雨水利用による植木の水やり	目標: 9,653m <sup>3</sup> (2007年度比 108%) 実績: 9,765m <sup>3</sup> (目標比 +1.1%)	目標未達成 漏水等に今後も注意して継続。
<b>環境配慮製品の販売促進</b> ・新規顧客の拡大(ホームページ) ・チラシ配布 ・環境配慮製品(古木)の販売促進	目標: 10,279千円 (2007年度190%up) 実績: 5,323千円 (目標比 △48%)	目標未達成 環境保全に役立ち寄与したい。 “もったいない”の観点から、古(イニシエ)からの贈り物を残したい。
<b>グリーン購入の促進</b>	目標: 1項目以上の追加 実績: 重機類の入替え等	目標達成 重機の入替え1通り終了 物品購入する際にエコマーク等確認。

※ 本表の数値には、第1工場及び第4工場分も含まれています。  
 次年度についても本年度と同様の取り組みを継続します。

□ 環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

法規名	該当する項目	順守評価
廃棄物処理法	・処分業の許可 ・排出事業者との契約 ・ Manifesto の処理 ・帳簿の備え付けと保存 ・事故時の措置 ・収集運搬業の許可 ・収集運搬基準 ・保管基準 ・技術管理者	○
消防法	・指定可燃物の届出 ・消火器の管理	○
騒音・振動規制法	指定地域ではない為、適用外	○
電気事業法	・電気保安協会等・受変電設備の保守・保安	○
自動車NOx・PM法 大阪府生活環境の保全等に関する条例	・車種規制 ・大阪府流入車規制	○
自動車リサイクル法	リサイクル料金の支払	○
道路3法（道路法・道路運送車両法・道路交通法）	・保安基準・車両制限・積載規定	○
下水道法	・排水量、水質変更する場合の届出	○
家電リサイクル法	・リサイクル料金の支払い（廃棄時）	○
フロン排出抑制法	・廃棄時の適正処分 ・エアコン修理、整備時のフロン回収の義務 四半期に一度の簡易点検	○

環境関連法規への違反はありません。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

【代表者の見直し結果と評価】

2018年9月の台風以降、昨年度いっぱいは大変入荷が多い状態が続きました。自然災害の復旧の為にも出来る限りの対応を続けておりました。その為、稼働時間が長くなっております。電気・化石燃料・水の使用量も増えておりますが、原単位での数値は良好なものとなっております。引き続き原単位での管理をしっかりと続けていきたいと思っております。

太陽光発電による自然エネルギー利用等、社会的なCO<sub>2</sub>削減に貢献していきたいと考えております。